

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かみひこうき東山			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～	2024年 10月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～	2024年 10月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	身辺自立に重きをおくことで自分で出来ることを増やし、自己肯定感を高めることができる。	クッキング・片づけ（机や洗濯）等、みんなで協力して取り組めるよう日々取り組んでいる。	就学に向け、座位を保てるような運動（体幹）を強化し、着席出来る時間を増やせるように取り組んでいく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出イベントが制限される事。	身辺自立、コミュニケーションを高めることに重きをおいているため。	モニタリング時や懇談会で事業所の様子や方針を伝えていく。
2			
3			

事業所名		かみひこうき東山		公表日		2024年10月17日					
				利用児童数		1名		回収数		1名	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1								
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1								
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1								
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1								
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1								
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1								

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
かみひこうき東山		2024年10月17日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		限られたスペースの中、カムダウンを設置し過ごしやすい環境を整えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		適切である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		荷物置き場、靴箱を固定にし利用時、混乱を防いでいる。洗面台・トイレには補助椅子を設置している。	状況に合わせて配置の変更等行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		掃除チェックシートを用い、毎日誰が掃除しても同じ内容が出来るようマニュアル作成済み。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		視覚支援を行い、活動によりレイアウトの変更(机の移動)を行い、安全に活動出来るようにしている。状況に応じてカムダウンや相談室を活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		月に一度、ミーティングを行い、共通確認に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		年1回実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		朝礼、終礼時に行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	現在、行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		年間スケジュールを立て行っている。外部研修にも積極的に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		9		今後、作成し公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		児発管によるアセスメントの他、日々把握したニーズや課題についても共有して計画に反映している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		ケース会議を行い全職員が意見等も出し合いながら検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画に沿った支援内容(課題)を毎日設定し、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		療育記録を取っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインに基づいた児童発達計画を作成し、日々の支援を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0		毎回、話し合いを行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		季節のイベント等も取り入れながら立案、子どもたちの意見を反映する事もある。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		個別活動と集団活動を調整しながら活動プログラムに取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎朝、ミーティングにて確認、共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		終礼時、支援の振り返り・課題への評価を行い、その内容については翌日のミーティングにて話し合う。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		療育記録にその日の様子を記録し、振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		6ヶ月を待たず支援計画の変更等、保護者と相談している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		日頃から子どもの状況について共有する事を徹底しており、その上で児発管が会議に出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		担当者会議等で連携の機会を伺っているが、難しい関係機関もあり全てとは言えない。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		9	該当なし	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		9	情報共有に努めてはいるが、難しい学校もあり全てとは言えない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		9		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		年2回、合同イベントを開催して交流している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		送迎時だけでなく、必要に応じて電話連絡や面談の機会を設けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		9		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		見学・契約時に児発管、もしくは施設長より説明を行っている。	
保	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		アセスメントをとる際に、保護者・子どもの意思や意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		児発管より説明を行い、署名捺印をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		送迎時だけでなく、電話での相談にも応じている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		感染症流行の状況を考慮して中止していたが、昨年度より保護者懇親会を再開。	次回からは、より多くの保護者に参加出来るように考えていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情があった場合には代表を含めた全職員に周知。事業所として適切な対応に努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月おたよりを作成・配布している。SNSにて行った活動の様子を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		入職時、全職員へ取り扱いについての説明を行っており、個人情報に関する書類については鍵付きの書庫にて保管。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		9	マニュアルの策定はしている。	発生を想定した訓練や家族への周知は十分とは言えないため今後の課題とする。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		避難訓練・消防消火訓練を年に1回ずつ実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時に必ず確認している。服薬に変更があった場合には情報把握に努めている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		アレルギーがある場合には、指示書の提出をお願いしているが、現在は該当無し。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		事業所内だけでなく、系列事業所とも、共有し、再発防止に努めている。方策決定後も防止に繋がっているか振り返りを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止委員会を設置し、事業所での虐待研修も実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		基本的に身体拘束は行わない。もし行った場合には、保護者へ状況説明を行い、書類に署名捺印をいただく。	